

「より良いまちづくり」は地域から



写真左上 毎月3日(防犯の日)の夜間パトロール(上川町中部町会)／写真右上 グラウンドゴルフ大会(檜原西部町会)

写真左下 第44回梶田町一丁目町会大運動会(梶田町一丁目町会)／写真右下 北野台夏まつり大会(北野台自治会・北野台五丁目自治会)

地域にお住まいの皆さんが協力して、さまざまな活動を行っている町会・自治会。

現在、市内には578団体があり、市と町会・自治会が協働し、それぞれの地域の特性を活かしながら住み良いまちづくりを進めています。安全で安心して暮らせる地域を築いていくために、皆さんも町会・自治会の活動に参加してみませんか。

今回の特集では、多くの皆さんに町会・自治会のことを知っていただくために、本市の町会・自治会の活動をお伝えします。

力を合わせてより良いまちづくり

少子高齢社会の進展や核家族化などにより、地域でのつながりが希薄化している現在、子育てや福祉、防災・防犯などの地域が抱える課題も多岐にわたります。

こうした課題を解決し、市民の皆さんが活かされ快適な暮らしができるように、市は町会・自治会と協働し、地域の皆さんと連携しながら取り組んでいます。

皆さんが住んでいる地域の町会・自治会では、生活環境の向上や、住民の交流を図るための活動を行っています。例えば、暗い夜道を照らす防犯灯の設置・維持管理、通学路を見回る防犯パトロール、災害に備えての防災訓練などの活動は、地域の中で安全・安心のまちづくりに活かされています。

つぎいついその時に発揮される地域力

最近では、隣近所のつながりが希薄になっていくといわれています。しかし、地震や台風など災害が起こった時に、頼りになるのは地域の皆さんです。日ごろの付き合いで育まれた地域の力は、困難な状況になるほど、隣近所の助け合いという形で発揮されます。また、ご近所付き合いは空き巣の被害を未然に防ぐなど、犯罪の抑止にも効果的です。

町会・自治会は心強いパートナー

地域が抱える課題を解決しながら、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めるためには、地域の皆さんと市が協働で取り組んでいくこ

地域の活性化に向けて・・・

様々な分野で発揮されている「市民力」「地域力」。市ではその大きな原動力となっている、町会・自治会の位置づけを明確にするとともに、地域の実情に応じた安全・安心なまちづくりを進める地域のコミュニティ活動を支援し、地域の活性化を推進するための条例の制定を目指しています。

とが重要です。市にとって、町会・自治会は心強いパートナー。町会・自治会の活動に参加して、力を合わせてより良いまちづくりを進めていきましょう。

町会・自治会の加入については、お近くの町会・自治会の役員にご相談を。なお、お住まいの地域の町会・自治会が分からない場合は、協働推進課までお問い合わせください。

住み良い地域づくりには 「向こう三軒両隣」「互^{ごきんじょ}近助づきあい」 が大切

市内の町会・自治会の相互の連絡・調整を図り、地域の課題を情報共有しながら、その解決に向け取り組んでいる八王子市町会自治会連合会の会長・秋間利久さんにお話を伺いました



町会・自治会の活動は、「自分たちのまちを自分たちの力でより良いまちにしていく」というものであり、地域の皆さんがその活動に参加することにより、地域の実情に応じたまちづくりが行われ、地域の活性化にもつながると思います。そのためにも、日頃から「向こう三軒両隣」「互近助(ごきんじょ)づきあい」を基本とした「助け合い」と「共助」の組織である町会・自治会活動により多くの皆さんに参加してもらいたいですね。

町会・自治会の主な活動

町会・自治会では、防犯・防災、環境美化、文化・ふれあい、子育て・学校連携、高齢者の見守り、交通安全などの活動のほかに、市からのお知らせや暮らしに関する情報などの提供、市への要望なども行っています。

きれいなまちを保つために

環境美化活動

公園や道路、川の清掃、資源物の回収など、地域の環境を保つ取り組みを行っています。

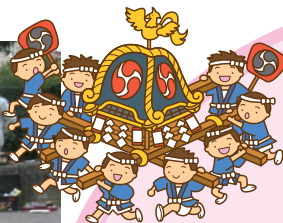
こうした地道な活動が、豊かな緑や水に恵まれた本市の環境を守っています。



▲湧水の清掃活動(写真は泉町町会)



▲新春餅つき大会(写真は松枝住宅自治会)



地域の交流を深めるために

文化ふれあい活動

お祭りや餅つき大会などの季節の行事をとおして地域の交流を図り、親睦(しんぼく)を深めています。日ごろからのご近所付き合いやあいさつが、地域の連携を強くし、いざというときの「助け合いの心」につながります。

子どもたちの豊かな成長を支えるために

子育て・学校連携活動

平成32年度までに市立小・中学校全校での設置を進めている地域運営学校には、多くの町会・自治会長が参画。地域に開かれ地域とつながる学校づくりなどに効果を上げています。



▲総合防災訓練の様子(写真は第六中学校)

「町会・自治会は、学校にとってなくてはならない存在です。学校運営をはじめ、学校行事や総合防災訓練など、町会・自治会の皆さんには学校と一体となって取り組んでいただいています。」
(第六中学校・川上 智校長)

安全に安心して暮らせるように

防犯・防災活動

防犯灯や防犯カメラの設置や維持管理、夜間の防犯パトロールや通学路の見回りなど、暮らしの安全を守る取り組みを行っています。

また、万が一の災害に備えて、防災訓練などを実施し、地域の安全・安心を築いています。



▲万が一の災害に備えた防災訓練(写真は中野西三町会)



地域を見守る“市民の力”“地域の力”

市は、毎年防犯協会の推薦に基づき「自主防犯活動優良団体」を認定しています。
平成29年度に認定を受けた2団体にお話を伺いました。

大塚日影自治会



不審者による犯罪を未然に防ぐため、平成21年から防犯活動を開始した大塚日影自治会。

現在は防犯部員8～10名で、夜間パトロールや放置自転車いのうえゆきおの確認に取り組んでいます。

会長の井上幸夫さんは「今後も不審者が近寄れないよう、地域の人々が安心して暮らせるまちづくりを推進したい。」と話していました。

上川町中部町会

「防犯は、一人の目より、地域の目」をテーマに平成23年から防犯活動に取り組んでいる上川町中部町会。防犯部(25名)を中心に夜間パトロールや駐在所と連携し、高齢者(単身)の見守り、空き家対策にも力を入れて犯罪抑止に努めています。

会長の高野誠三たかのせいぞうさんは「上川町中部に住んで良かったと誇りに思える町づくりを目指して活動しています。」と話していました。



お問い合わせ

協働推進課 ☎620・7401、FAX626・0253へ